

R6年度ジャパンフラワー強化プロジェクト推進 実証結果

1 取組課題名

高温対策技術導入によるユリ切り花の夏季生産技術の高度化実証

2 取組内容

近年、夏季の異常高温によるユリ切り花の奇形花の発生、短茎化による品質低下等が問題となっている。そこで、高温時期を経過するユリ切り花の抑制栽培において、ミスト散水による切り花の品質確保効果を検証した。

3 取組の成果

- (1) ハウス内が高温となった条件下でミスト散水することにより、ハウス内温度を最大 4℃低下させることが確認された(図1)。また散水により、ユリ切り花の葉面温度を下げる効果が見られた(図2)。
- (2) 今回のミスト散水の効果実証では、葉焼け障害の発生は少なく、多くの品種で90cm以上の草丈が確保された(表1)。

4 具体的データ

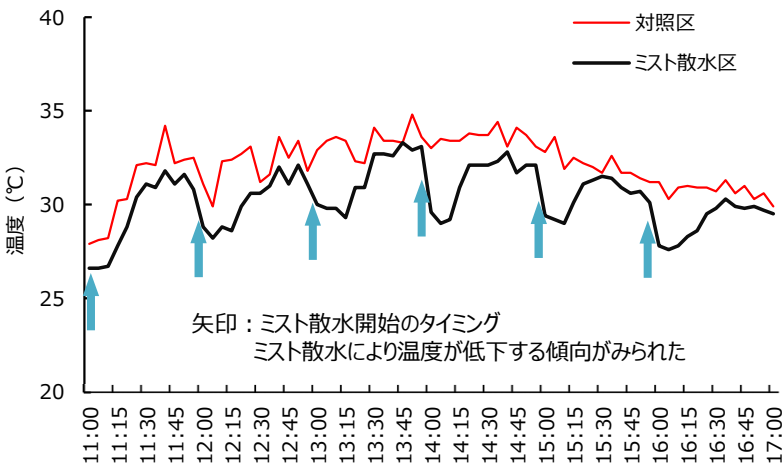


図1 ミスト散水による温度低下効果(新潟市秋葉区)

- 注1 2024年8月5日 ユリ切り花ハウスの畦上1mの高さの温度を計測
- 注2 ミスト散水区は「ミストエース20ハウスクール02L」を用いて、毎正時に15分間の散水を実施

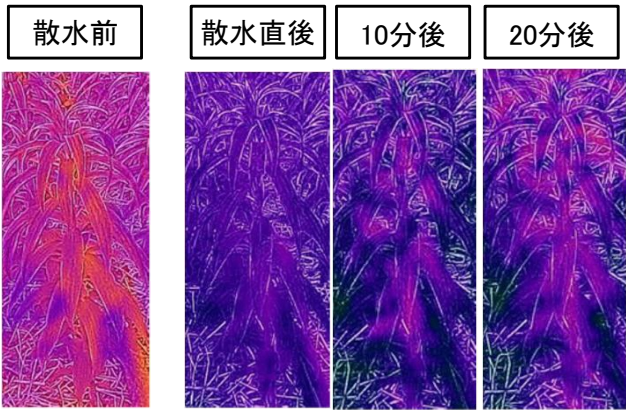


図2 ミスト散水によるユリ切り花葉面の温度変化(新潟市秋葉区)

- 注1 2024年8月22日「ミストエース20ハウスクール02L」を用いて15分間の散水前後、ユリ切り花をサーモグラフィカメラにより撮影(赤色：高温→黒紫色：低温)

表1 ミスト散水処理がユリ切り花特性に及ぼす影響

調査地	定植日	品種	球根サイズ (cm)	採花日 (月/日)	草丈 (cm)	花数 (輪)	うち奇形 (輪)	花蕾長 (cm)	葉焼け ² 程度 (0<3)
新潟市秋葉区	7/29	パシフィックオーシャン	18/20	9/28	93.8	5.0	0.0	7.5	0.1
	7/29	シベリア	18/20	9/28	92.6	5.0	0.2	8.4	0.0
	8/3	アンジェラ	21/23	9/26	123.1	5.0	3.6	6.7	1.8
	8/3	プレミアムフロンド	20/22	10/5	123.5	6.0	0.4	9.0	0.4
	8/3	シベリア	18/20	10/3	97.8	5.0	0.7	8.3	0.0
	8/3	シベリア	18/20	10/6	96.1	5.0	0.0	8.6	0.0
	8/3	カサブランカ	22+	10/9	106.5	7.0	0.0	9.5	0.1
	8/3	カサブランカ	24+	10/12	121.0	7.0	0.0	8.9	0.1
新潟市南区	8/3	カサブランカ	24+	10/13	114.4	7.0	0.0	9.4	0.0
	8/12	ベルビール	20/22	10/2	103.4	5.0	0.1	9.0	0.0
	8/12	シベリア	20/22	10/13	96.2	7.0	0.7	9.2	0.0
	8/12	シベリア	20/22	10/15	94.2	7.0	0.4	8.9	0.0
新潟市秋葉区	8/12	シベリア	18/20	10/15	86.6	5.0	0.0	9.5	0.0

² 葉焼け程度 …… 0：葉焼けなし 1：ごく軽微な状態 2：一日で葉焼けと確認できる状態 3：著しい葉焼け

- 注1 2025年「ミストエース20ハウスクール02L」によるミスト散水を実施した収穫時のユリ切り花特性



図3 ユリ切り花ハウスのミスト散水チューブの設置状況(新潟市秋葉区)

- 注1 ユリ切り花ハウスの上部に「ミストエース20ハウスクール02L」を設置

5 今後の取組予定

- (1) より障害を低減させるためのミスト散水方法の検討
- (2) ミスト散水に係る労力の低減